

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買いあげの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

ソーラーバッテリー方式レーダー探知機 **GPS-771RR**

●保証期間

※ お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL ( ) -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL ( ) -



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-4-4

■商品についてのお問い合わせは…マルハマサービスTEL.045-251-2687

 **MARUHAMA**

GPS/カーロケ帯受信機

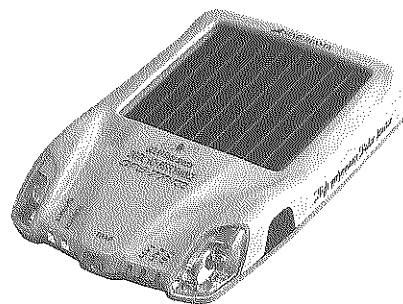
ソーラーバッテリー方式・受信機能搭載

X/K2バンド高感度レーダー探知機

# GPS-771RR

## 取扱説明書

<保証書付>



GPS-771RRをお買いあげいただき誠にありがとうございます

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上でご使用いただきますようお願いいたします。また本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

**まず最初に充電します。**

初めてご使用になるときは付属のカー電源コードを使い、10時間以上充電してからご使用ください

## 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. ご使用になる前に	3
3. 製品の構成	5
4. 主な特長	6
5. 各部の名称とはたらき	8
6. 本体の取扱方法	10
1 電源について	10
2 取付方法	12
3 使用方法	13
4 本体の機能	15
7. リモコンの取扱方法	24
■名称とはたらき	24
1 音量の調整	26
2 アラームブザー・メロディ選択	26
3 ミュート機能	26
4 振動センサーの感度設定	27
5 レーダー波受信感度の設定	28
6 オートアラームカット (AAC) システムの設定方法	29
7 受信機能の設定	30
8 デジタル無線とヘリテレ無線のパスメモリー機能	31
9 ゴーストアラームカットポイントの手動登録・削除	32
10 GPS機能の設定	33
11 GPSアラームカットの設定・消去	34
12 オリジナルポイントの登録・削除	35
13 通過速度の参照	36
14 居眠り防止アシスト機能	36
15 セキュリティモード	37
16 シンプルモード	37
8. 故障とお考えになる前に	38
9. 主な仕様	39

## ■1. 安全についてのお願いとご注意■

本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の表示には安全に正しく使用し、お客様や他の人への危害と財産への損害を防ぐために様々な絵表示をしています。

ご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

### ■絵表示の例



△記号は気をつける必要があることを表しています(警告・注意)。



⊘記号はしてはいけないことを表しています(禁止)。⊘の中や近くの表示は禁止の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の禁止は⊘です。



●記号はしなければならないことを表しています(強制)。(左図は差し込みプラグをコンセントから抜く)。一般の表示は●です。

### 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)



■本機を濡らさないでください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



■車を運転中に本機を操作しないでください。

車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因になります。運転中の運転者での操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。



■ケースは絶対に開けないでください。

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。



■スピードの出しすぎにご注意ください。

本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。



■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。

これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください)そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



## ⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)



■衝撃や強い振動を加えないでください。  
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。



■高温時の取り扱いにご注意ください。  
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。



■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。  
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。



## 機能上の制約



■日本国内で使用してください。  
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

■マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。  
本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤ式などのスピード取締機には対応していません。

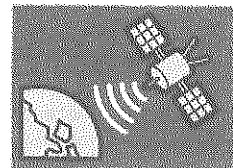
■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。  
前方に走行中の車(特に大型車)がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。

■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。  
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

## 2. ご使用になる前に

### ●GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは地球の衛星軌道上にある人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。本機ではこのシステムを利用して自車位置を測定し、あらかじめ登録されている取締機および取締ポイントの位置情報との照合を行います。これにより電波が発射される従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式や光電管式の見逃しについても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機や取締ポイントについても30ヶ所まで登録することが可能です。

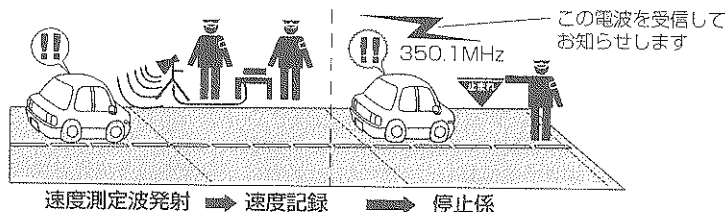


### ●無線受信機能について

本機は、速度取締連絡波(350.1MHz)、カーロケータシステム(自車位置測定情報システム)電波、および警察デジタル無線(VHF/警活系)、ヘリテレ無線を受信し、音声とランプの点滅で警告します。また、Nシステムを検知し、音声とランプの点滅で警告します。

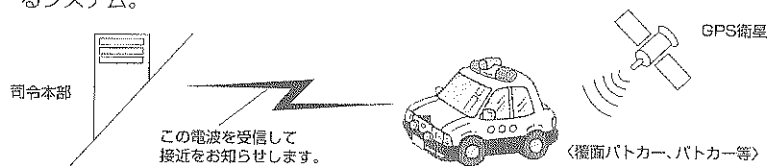
### ■取締連絡波(350.1MHz)とは

速度取締り現場で記録係と停止係の間で連絡用に使用されている無線です。  
※デジタル無線の場合は、音声での受信はできません



### ■カーロケータモードとは

緊急車両がGPSによる自車の位置データを無線で定期的(間欠)に司令部に送信するシステム。



#### ■デジタルロケーターモードとは

主に緊急車両の連絡用として使用されている  
160MHz帯の警察無線が受信できます。

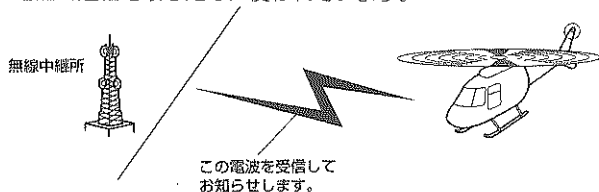
#### ■ポリロケーターモードとは

警察官同士の連絡用として使用されている  
署活系警察無線が受信できます。

#### ■ヘリテレ無線(ヘリコプター取締無線)とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで主に、事件・事故や取締等の  
時、上空と地上で連絡を取るために使われています。

デジタル無線の為  
音声での受信はできません



#### ■Nシステム(自動車ナンバー自動読みとりシステム)とは

全ての走行車輛を必要に応じてデジタルカメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする  
自動車ナンバー自動読みとり装置です。

将来的に速度取締りに使用される可能性があります。

#### ■トラップゲートモードとは

周囲で取締(検問等)が行われている可能性が高いことをフラッシュと警告音、音声でお  
知らせします。

#### ■エクセレントカーロケーターモードとは

カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターのトリプル受信で緊急車輛の接  
近検知度がさらに向上します。

※カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターの受信設定を全てONの状態  
で使用してください

## 3. 製品の構成

お買いあげいただいた製品は次の品目から構成されています。

- 本機……………1台
- 操作用リモコン……………1個
- 取付ステー……………1セット
- 吸盤……………2個
- 両面テープ……………1枚
- カー電源コード……………1本
- リチウムコイン電池(CR2025)……………1個
- 取扱説明書兼保証書(本書)……………1冊

●外部GPSアンテナオプション(GPS-AT2)……………別売  
別売のアンテナユニットによりGPS受信の感度を上げられます。

## 4. 主な特長

### ■リモコン操作

主電源を除く通常操作をワンタッチリモコン操作。

### ■ゴーストアラームカット機能搭載

自動ドアによる誤動作など、通過のたびに発生するレーダーの誤動作の発生位置を自動的に記録し、レーダーアラームをカットします。  
(自動登録のほか、手動操作による登録も可能です。)

### ■居眠り防止アシスト機能搭載

居眠り防止のため、音声により注意を促します。

※本機能は、居眠りを未然に検知し完全に防止するものではありません。

### GPS警告機能

#### ■日本国内オービス位置および取締ポイントをメモリー

全国のオービス(速度取締機)約650箇所の位置データを登録。

GPS電波による自車位置測定により、オービスに接近すると音声とランプの点滅で警告します。警告中・取締機通過時には、走行速度を音声でお知らせします。

また、よく速度取締が行われているポイントを取締ポイントとして、登録済み。さらに、オリジナルポイントを最大30箇所まで登録できます。

#### ■オービスポイント自動検索機能

メモリーしてあるオービスの最大2km手前から、ランプの点滅と音声で接近をお知らせします。

#### ■GPS警告の低速ボイスカット機能

メモリーしてあるポイントへの接近時、停車中や低速走行時の警告ボイスを自動でカットします。

### 受信機

#### ■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。

#### ■デジタルロケーターシステム電波(160MHz帯)が受信可能

160MHz帯の警察無線が受信できます。

#### ■ポリロケーターシステム電波(UHF帯警活系)が受信可能

UHF帯の警察警活系デジタル無線が受信できます。

#### ■トラップゲートモード搭載

全てのランプの点滅と専用アラームで取締(検問等)の可能性が高いことをお知らせします。

#### ■速度取締現場の連絡無線が受信可能

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

#### ■カーロケーターシステム電波が受信可能

緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

ただし、一部の地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

#### ■デジタル無線発信車両の接近離反をお知らせ

発信車両の接近・離反を判断し、音声でお知らせします。

#### ■エクセレントカーロケーターシステム

カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターのトリプル受信で緊急車両の接近検知度がさらに向上します。

#### ■ステルス/新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD. D. C. 回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応ではありません。

先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

#### ■Nシステム(自動車ナンバー自動読みとり)システム対応

Nシステムの設置をランプとアラーム・音声でお知らせします。

#### ■ヘリテレ無線(ヘリコプター取締連絡無線)対応

ヘリコプターから無線中継所に送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。

ただし、一部地域やヘリコプターにこのシステムが導入されていない場合があります。

#### ■4モード受信感度切替(レーダー受信感度)

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速走路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況によりレーダーの受信感度の切り替えができます。

また、車速に応じて自動でモード変更を行うオートモードも搭載。

#### ■オートアラームカット(AAC)システム搭載

GPSにより走行速度を検出することで、低速走行時のレーダーアラーム音をカットします。

#### ■パスメモリー機能搭載

デジタルロケーター・ポリロケーター受信・ヘリテレ無線は、不要なチャンネルを記憶し受信拒否できます。

#### ■オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。

### その他

#### ■太陽電池搭載

本機は太陽電池からニッケル水素電池に充電します。

十分に充電を行った後は、カー電源コードを抜いた状態でも使用できます。

#### ■オートパワーオフ

約3分間振動がない状況が続くと次に振動を感知するまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。

#### ■バッテリーローアラーム

電池が消耗すると音声でお知らせします。

#### ■セキュリティモード搭載

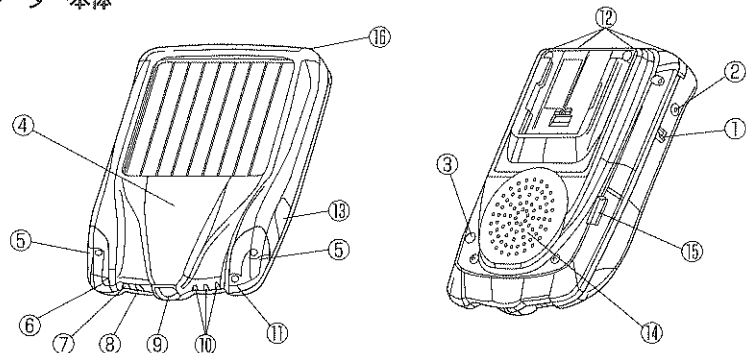
駐車中ランプの点滅により、不審者に対して簡易的な威嚇動作を行うことが出来ます。

#### ■シンプルモード

警告時にランプの点滅を行わず、音声とアラーム音のみで警告するシンプルモードが設定できます。

## 5. 各部の名称とはたらき

### ■レーダー本体



- ①電源スイッチ(POWER)  
本体の電源をON/OFFします。
- ②DCジャック(DC12V)  
付属のカー電源コードを接続します。
- ③リセットボタン  
設定の初期化を行います。
- ④GPSアンテナ(内蔵)  
GPS衛星からの信号を受信します。
- ⑤アラームランプ  
警告時に点滅します。
- ⑥レーダー/AACランプ(RAD/AAC)  
レーダー感度およびAAC設定を点滅表示します。
- ⑦GPS/BATTランプ(GPS/BATT)  
GPSの受信状態および電池電源の状態を点滅表示します。
- ⑧電源/振動ランプ(POW/MOV)  
振動検出状態を点滅表示します。
- ⑨トラップランプ(TRAP)  
無線受信時、または2km以内に取締機がある場合に点滅します。
- ⑩レベルメーター(LEV 1~3)  
レーダー受信時は受信レベルを、GPS警告時には距離レベルを点滅表示します。
- ⑪ハイウェイ/シティ表示ランプ  
GPS対象道路種を点滅表示します。
- ⑫セキュリティ表示ランプ  
セキュリティモード時に点滅します。
- ⑬リモコン受光部  
リモコンからの赤外線を受光します。
- ⑭スピーカー  
音声やアラーム音が鳴ります。

### ⑮外部GPS接続用コネクタ

別売の外部GPSアンテナオプション(GPS-AT2)を接続します。

### ⑯Nシステム受光部

Nシステムを感知します。

## 6. 本体の取扱方法

### 1 電源について

本機はソーラーパネルにより太陽光から内蔵の充電機に充電して使用する製品です。

#### 1. ご使用になる前に

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は電源スイッチを **[OFF]** にして、付属のカー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください。

また本機を使用しながら(電源 **[ON]**)の状態充電することができます。

#### 2. 太陽電池について

●電源が入っていても充電されます。

●満充電後は、全く充電されない状態で約60時間連続動作します(レーダー受信待受時)。

※各種機能のON/OFFにより、連続動作時間は変化します。

●太陽電池で十分な充電ができない場合は、カー電源コードをご使用ください。

#### ご注意

●夏季や冬季の駐車中では車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。

そのため電池の充電時間が変化する場合があります。

●雨天・曇天時や夜間などでは十分に充電することができません。

#### 3. バッテリーローアラーム

電池が消耗して正常に動作できなくなると、ランプと音声で電池の消耗をお知らせするとともにGPSの測位機能が停止します。電池が消耗した場合は、カー電源コードを使用して充電してください。

電池電圧	GPS/BATTランプ	音声
電圧低下	赤・緑色同時	"GPSを解除しました。 充電してください"
使用不可	赤色点滅	"充電してください" 30秒ごとにお知らせ

#### ご注意

●電池電圧が低下した場合GPS測位機能が解除されます。この場合GPS機能は使用できませんのでご注意ください。

#### 4. オートパワーオフ機能について

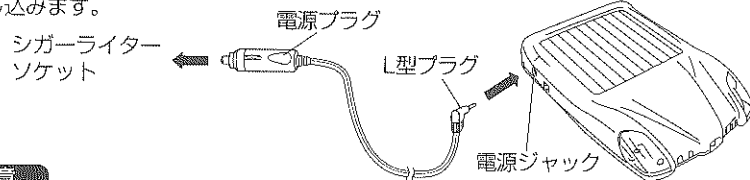
停車中や駐車中など振動の少ない状態が約3分間続くと、自動的に動作を停止します。

動作停止後、乗車、エンジン始動など車の振動が大きくなると動作を再開します。

#### 5. カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより外部電源(車のバッテリー)を本体に接続し、内蔵の充電機に充電します。

●カー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



#### ご注意

- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが止まっているときは充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

#### 6. 電池の寿命について

本体内蔵の電池は使用状況にもよりますが約3年が寿命です。

十分に充電しても充電機のみでは長時間作動しなくなった場合は充電機の寿命がきています。その場合は付属のカー電源コードをご使用になることで通常通り動作させることができます。

※充電機を交換される場合は本体ごとお買いあげの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

#### ご注意

- 本機は専用の電池を使用しています。安全のために専用電池以外は使用しないでください。新しい専用電池についてはお買いあげの販売店にご相談ください。

### 警告

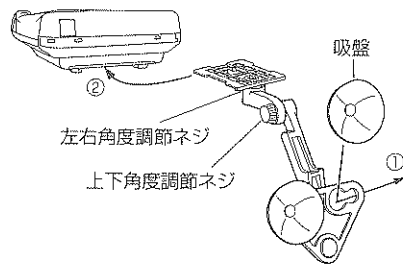
#### ■高温時の取り扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください。

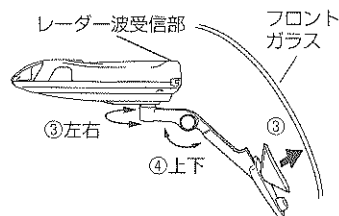
## 2 取付方法

### 1. フロントガラスへの取付

- ① 付属の取付ステーに同梱の吸盤を取り付けます。
- ② 本機に①を取り付けます

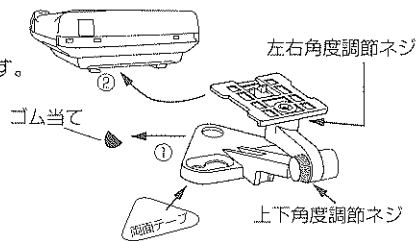


- ③ レーダー波受信部が車の進行方向を向くように左右角度調節ネジをドライバーで固定し、フロントガラスに吸着させます。  
※吸盤に水などをつけると吸着させやすくなります。
- ④ 本体の角度を地面と水平になるように調整し、上下角度調節ネジを締めてください。

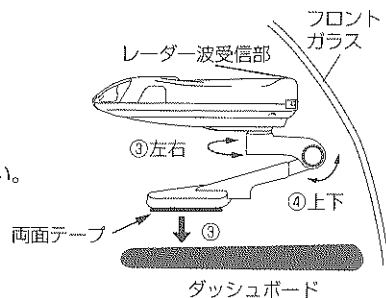


### 2. ダッシュボードへの取付

- ① 付属の取付ステーのゴム当てをはずし、同梱の両面テープの片面を貼り付けます。
- ② 本機に①を取り付けます。



- ③ レーダー波受信部が車の進行方向を向くように左右角度調節ネジをドライバーで固定し、ダッシュボードへ貼り付けます。
- ④ 本体の角度を地面と水平になるように調整し、上下角度調節ネジを締めてください。

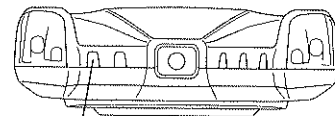


## 3 使用方法

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は付属のカー電源コードを使用して内蔵電池に充電してください。  
本機は工場出荷時に初期設定していますので、初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

### 操作方法

- ① 電源を入れます  
・電源スイッチをONにします。  
・アラーム音が鳴り、レーダー/AACランプとレベルメーターが点灯します。
- ② GPS測位を開始します  
・GPS測位が確定するまでGPS/BATTランプが緑色の点滅を繰り返します。  
・GPS測位が確定すると「ボーン、GPSを測位しました」とアナウンスし、GPS/BATTランプが消灯します。  
※GPS機能がOFFに設定されている場合、ハイウェイ/シティ表示ランプは消灯しています。  
※お買い求めいただいた初めてお使いになる場合、GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが、製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ③ GPS測位の完了を待ちます  
・GPS測位が確定するとGPS/BATTランプが消灯し、音声で測位完了をお知らせします。  
"ボーン、GPSを測位しました"
- ④ 使用状況に合わせて各種設定を行います  
・各種設定は初期設定していますので、変更したい設定のみリモコン操作で変更してください。
- ⑤ 走行中は各ランプ及び各種ブザー音や音声により警告を行います



GPS/BATTランプ



## 工場出荷時の設定

工場出荷の時点において、各設定は以下のようにされています。

設定項目	設定値	ページ
レーダー感度	エクストラモード	28
振動センサー感度	最高	27
警告モード	ALLモード	33
オートアラームカット (AAC)	40キロ	29
レーダーアラーム	ブザー	26
音量	最大	26
デジタル無線	ON	30
署活系無線	ON	30
カーロケ	ON	30
Nシステム	スーパーモード	30
取締無線	ON	30
ヘリテレ無線	ON	30
居眠り防止アシスト機能	OFF	36
セキュリティモード	OFF	37
シンプルモード	OFF	37
ユーザーオリジナルポイント	未登録	35
ゴーストアラームカットポイント	未登録	32
プリセットポイントのアラームカット	未登録	34
パスメモリー	未登録	31

### ご注意

各種設定を変更する場合は、本取説をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

### ※変更した設定を初期化したい場合

本体のリセットボタンを1秒以上長押しすると、“ポン、消去しました。”と音声でお知らせし、設定が工場出荷時のものに初期化されます。

### ご注意

リセットボタンにより初期化をした場合は、各ポイントやメモリー内容も消去します。

## 4 本体の機能

### 1. オートパワー制御

本機内蔵の振動センサーにより、約3分間振動がない状況が続くと次に振動を感じるまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。

### ■振動センサーの動作確認

#### ① 車を走行させます

車を走行させて電源/振動ランプの点滅色が赤から緑に変わることを確認してください。

#### ② 走行速度を落します

低速走行またはアイドル状態で電源/振動ランプの点滅色が緑から赤に変わることを確認してください。

#### ③ 停車します

停車してから約3分後にすべてのランプが消灯し自動的に動作停止することを確認してください。

※セキュリティがONになっていると威嚇点滅を行う場合があります。

#### ④ 車を走行させます

車を走行させてから数秒後に動作を開始し、電源/振動ランプが点滅することを確認してください。

※①～④で正常に動作しない場合は“7-4 振動センサーの感度設定”(P.27)に基づいて感度を切替えてください。

※①で車を走行させても電源/振動ランプの点滅色が緑に変わらないときは、振動センサーの感度を高く設定してください。

※②でアイドル状態で電源/振動ランプの点滅色が赤に変わらないときは、振動センサーの感度を低く設定してください。

### ご注意

●振動センサーの感度を低く設定するとオートパワーオフ機能により動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。

●振動や騒音の激しい場所などではオートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は電源を切ってください。

## 2. レーダー波受信に対する警告

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびアラームランプ、レーダー/AACランプ、レベルメーターによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音及びレベルメーター・アラームランプの点滅速度が変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
アラーム音	電波が強くなるほど鳴る間隔が短くなります。(音色 ピッ ピッ) ただし、メロディを選択している場合、テンポは変化しません	ステルス専用音声・アラームで警告します。 音声 “ステルスをキャッチしました”

受信レベル	レベルメーター	アラームランプ
弱 ↑ ↓ 強	消灯	低速点滅 ↑ ↓ 高速点滅
	緑 点滅	
	緑・黄 点滅	
	緑・黄・赤 (低速点滅)	
	緑・黄・赤 (中速点滅)	
	緑・黄・赤 (高速点滅)	

AACの動作状態に応じて、レーダー/AACランプが点滅します。

	AAC動作	点滅色
レーダー/AAC ランプ	通常アラーム	速い緑色点滅
	アラームカット	速い赤色点滅

### ご注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

### ■オートミュート機能

レーダー波受信時にレベルメーター全点灯の状態が約10秒間続く、もしくはレーダー波を20秒間連続で受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

### ■オートアラームカット(AAC)システム

GPS測位で取得した車速をもとに、設定速度以下での走行時のレーダーアラーム音をカットします。GPSが測位できていない、あるいはGPS機能をOFFにしている場合は、本機内蔵の振動センサーにより、振動状態を検出し、低速走行時のアラームカットを行います。

※AACシステムのON/OFFは、本機の電源をONにした際、レーダー/AACランプの点灯色で確認することができます。

設定	レーダー/AACランプ
ON	赤色点灯
OFF	赤・緑色同時点灯

### ご注意

- AAC設定時、車によってはアイドリング中でも警告動作が止まらない場合があります。そのときは本機の取り付け場所を変更してみてください。
- 車によってはAACが正常に働かないことがあります。そのような車種ではAACを[OFF]にしてください。
- AACを[OFF]にしてもオートパワーオフ機能は動作します。

## 3. 受信機による警告

本機は速度取締連絡波(350.1MHz)、カーロケーターシステム(自車位置測定情報システム)電波、および警察デジタル無線(VHF/署活系)を受信し、音声とランプの点滅で警告します。工場出荷時はすべての受信機能が[ON]に設定されています。

### ■トラップゲートモードとは

周囲で取締(検問等)が行われている可能性が高いことをフラッシュと警告音、音声でお知らせします。

### ■エクセレントカーロケーターモードとは

カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターのトリプル受信で緊急車輛の接近検知度がさらに向上します。

※カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターの受信設定を全て[ON]の状態で使用してください

### ご注意

警告音が鳴らなくても取締が行われていることもありますのでご注意ください。

### (1) 取締連絡波(350.1MHz)の受信

- 取締連絡波(350.1MHz)を受信するとトラップランプが点滅し、受信音声をお聴くことができます。
- 受信終了後には“ピンポン、取締無線をキャッチしました。注意してください”と、音声でお知らせします。  
※デジタル無線の場合は、音声での受信はできません。

### (2) カーロケーターシステムの受信

- カーロケーターシステムの電波を受信するとトラップランプが点滅します。また検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音 声
初回受信	—	ピンポン、カーロケをキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました

#### ご注意

- カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけでもなく、また常時車両から電波を出しているわけでもありません。  
このような場合は緊急車両の接近があってもお知らせすることはできません。
- カーロケーターシステムはデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

### (3) デジタルロケーターモード(デジタルVHF)の受信

- デジタル無線(VHF帯)を受信するとトラップランプが点滅し、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音 声
初回受信	—	ピンポン、デジタル無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました

#### ご注意

デジタルロケーターはデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

### (4) ポリロケーターモード(デジタル署活系)の受信

- デジタル無線(署活系)を受信するとトラップランプが点滅し、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音 声
初回受信	—	ピンポン、署活系無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました

#### ご注意

ポリロケーターはデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

### (5) ヘリテレ無線の受信

- ヘリテレ無線を受信するとトラップランプが点滅し、受信音声をお聴くことができます。
- 受信終了後には“ピンポン、ヘリテレ無線をキャッチしました。注意してください”と、音声でお知らせします。

### (6) Nシステムの感知

- Nシステムを感知するとトラップランプが点滅し、“ピンポン、Nシステムをキャッチしました”と、音声でお知らせします。

### (7) トラップゲートモードでの受信アラーム

- 複数の警察無線を受信した場合、取締(検問)の可能性が高いと判断し、トラップランプを含む全てのランプがフラッシングし、専用アラーム音でお知らせします。

### (8) ゴーストアラームカット機能

- GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を自動的に登録・動作します。  
※同一エリアにおいて、2日連続でレーダー受信が行われると、ゴーストアラームカットエリアとして自動的に登録されます。登録時には、“ブーン、不要な電波を削除します”と音声でお知らせします。
- ゴーストアラームカットエリアとして登録された場所では、レーダー受信時にアラーム音出力を停止します。アラームランプの点滅によりゴーストアラームカット動作中であることをお知らせします。

#### ご注意

- 設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合には、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点でいったん消去されます。手動で登録されたポイントは自動消去されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

#### 4. GPS測位による警告動作

##### ①GPS機能の使用

###### 操作方法

①電源スイッチをONにします。

②GPS測位を開始します

- ・GPS/BATTランプが緑色に点滅しGPSサーチ中であることが表示されます。
- ※赤・緑色が同時に点滅する場合はGPS機能がOFFの設定になっているか、電池電圧が低下しています。GPS機能をONにするか(→P33参照)付属のカー電源コードで充電を行った上で再度電源を入れ直してください。

③GPS測位の完了を待ちます

- ・GPS測位が確定するとGPS/BATTランプが消灯し、音声で測位完了をお知らせします。  
"ポーン、GPSを測位しました"

###### ご注意

- ・GPS測位を完了し、GPS/BATTランプが消灯した状態でないとGPS警告機能は動作することができません。
- ・初めて使用する場合などは測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

##### ■警告の対象とする道路種

ハイウェイ/シティ表示ランプの点滅色により、警告の対象とする道路種をお知らせします。

モード	ハイウェイ/シティ表示ランプ	警告対象	音 声
ALLモード	赤・緑色同時	全ての登録済み取締機	オールモードを設定しました
高速モード	赤色	高速道路に設置された取締機	高速モードを設定しました
一般モード	緑色	一般道に設置された取締機	一般モードを設定しました

###### ご注意

遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、GPS/BATTランプが点滅し、測位できていないことをお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。再度GPS測位を完了した時点で再びGPS/BATTランプは消灯します。

##### ②GPS警告動作

本製品にあらかじめ登録されている取締機及び取締ポイント(プリセットポイント)、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近すると音声、及びアラームランプ・レベルメーターでお知らせします。

##### (1)取締機に対する警告動作

###### 警告動作

①最大2km手前

- ・トラップランプが点滅し、音声で警告します。  
"取締機に接近しました。"  
トラップランプの点滅は取締機を回避するまで続きます。

②約1km~500m手前

- ・アラームランプ・レベルメーターが点滅し音声で警告します。また、車速が時速60キロ以上の場合、車速をお知らせします。  
例) "ポーン、70キロ以上です、1キロ先の一般道路、LHシステムに注意してください。"

③一定時間毎に音声で警告します

- ・アラームランプ・レベルメーターが取締機との距離に応じて点滅し、音声で警告します。  
例) "ポーン、LHシステムに注意してください。"

④500m~200m手前

- ・音声で警告します。また、車速が時速60キロ以上の場合、車速をお知らせします。  
例) "ポーン、70キロ以上です、500m先の一般道路、LHシステムに注意してください。"

⑤200m手前~通過まで

- ・音声で警告を繰り返します  
"注意してください。危険です。危険です。..."

⑥通過後

- ・音声でポイント通過時の速度をお知らせします  
例) "通過速度は80キロ未満です"

## ちょっと一言

- 距離内容は距離に応じて“1キロ以内”・“500m以内”と変わります。
- 道路種内容はポイントの設置されている道路により“一般道路”または“高速道路”となります。  
また、警告中はポイントの道路種に応じてハイウェイ/シティ表示ランプの点滅色が変わります。

道路種	ハイウェイ/シティ表示ランプ
一般道路	緑色点滅
高速道路	赤色点滅

※オリジナルポイントの場合、赤・緑色同時点滅になります。

- 取締機の内容はポイントにより識別し、お知らせします。  
取締機の種類：LHシステム・Hシステム・ループコイル式オービス・レーダー式オービス・NHシステム
- レベルメーター、アラームランプは距離に応じて下記のように点滅します。

距離(m)	レベルメーター	アラームランプ
1200~800	緑 点滅	低速点滅
800~600	緑・黄 点滅	
600~400	緑・黄・赤(低速点滅)	↑ ↓
400~200	緑・黄・赤(中速点滅)	
200以内	緑・黄・赤(高速点滅)	

- 通過速度は60キロ未満から150キロ以上まで、10キロ刻みでお知らせします。
- トンネル直後の取締機については、トンネル進入前に音声でお知らせします。  
例)“ピーッ、トンネル出口の一般道路、LHシステムに注意してください”

## (2)取締ポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ①約1km~500m手前

トラップランプが点滅し、アラームランプ・レベルメーターが点滅し音声で警告します。  
例)“ピーッ、一般道路、検問に注意してください。”

#### ②一定時間毎に音声で警告します

トラップランプが点滅し、アラームランプ・レベルメーターが取締機との距離に応じて点滅し、音声で警告します。  
例)“ピーッ、検問に注意してください。”

#### ③500m~200m手前

トラップランプが点滅し、音声で警告します  
例)“ピーッ、一般道路、検問に注意してください。”

## (3)オリジナルポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ①約1km~500m手前

アラームランプ・レベルメーターが点滅し音声で警告します。  
また、車速が時速60キロ以上の場合、車速をお知らせします。  
例)“ポーン、70キロ以上です、1キロ以内のオリジナルポイントに注意してください。”

#### ②一定時間毎に音声で警告します

アラームランプ・レベルメーターがオリジナルポイントとの距離に応じて点滅し、音声で警告します。  
例)“ポーン、オリジナルポイントに注意してください。”

#### ③500m~200m手前

音声で警告します  
また、車速が時速60キロ以上の場合、車速をお知らせします。  
例)“ポーン、70キロ以上です、500m以内のオリジナルポイントに注意してください。”

#### ④200m手前

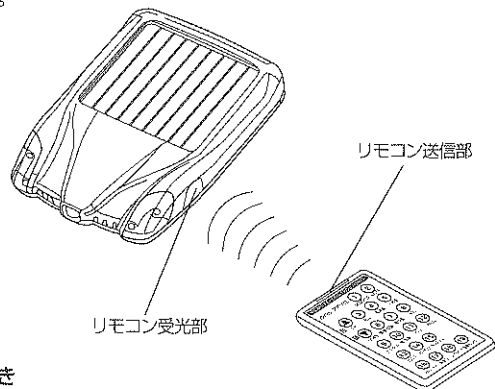
音声で警告します  
“注意してください。”

### 注意

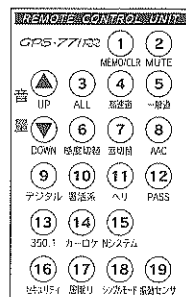
- GPS警告の開始後、車の走行速度が低い状態では自動的に警告ボイスをカットします。
- 警告ボイスはGPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、危険が回避された場合(横道にはいるなど方向変換した場合等)は警告動作を終了します。
- 警告開始後一定時間経過しても通過に至らない場合警告を終了することがあります。
- 本機ではレーダー受信よりもGPS警告を優先します。  
このため、アラームランプ・レベルメーターともGPS警告中はGPS状態の優先表示となり、レーダー受信アラームも鳴りません。  
レーダー受信状況はレーダー/AACランプの点滅で確認することができます。

## 7. リモコンの取扱方法

本機の設定はすべて赤外線リモコンで行います。  
各種設定を変更する場合は、本体側面のリモコン受光部にリモコン送信部を向けてボタン操作します。



### ■名称とはたらき



#### ①メモ/クリアボタン(MEMO/CLR)

オリジナルポイントやゴーストアラームカットポイントの登録、消去を行います。

#### ②ミュートボタン(MUTE)

アラームミュートの設定、アラームテストを行います。

#### ③オールボタン(ALL)

#### ④高速道ボタン

#### ⑤一般道ボタン

#### ⑥感度切替ボタン

レーダー感度の設定を行います。

#### ⑦音切替ボタン

レーダーアラーム音の切替を行います。

#### ⑧AACボタン

オートアラームカット(AAC)の設定を行います。

GPSの受信設定を行います。

#### ⑨デジタルボタン

デジタル無線(VHF帯)の受信設定を行います。

#### ⑩警活系ボタン

警活系無線の受信設定を行います。

#### ⑪ヘリボタン

ヘリテレ無線の受信設定を行います。

#### ⑫パスボタン(PASS)

パスメモリーの設定を行います。

#### ⑬350.1ボタン

取締無線(350.1MHz)の受信設定を行います。

#### ⑭カーロケボタン

カーロケーター無線の受信設定を行います。

#### ⑮Nシステムボタン

Nシステムの受信設定を行います。

#### ⑯セキュリティボタン

セキュリティモードの設定を行います。

#### ⑰居眠り防止アシストボタン(居眠り)

居眠り防止アシスト機能の設定を行います。

#### ⑱シンプルモードボタン

シンプルモードの設定を行います。

#### ⑲振動センサボタン

振動センサーの感度切替を行います。

#### ⑳▲音量アップボタン

スピーカーの音量を上げます。(UP)

#### ㉑▼音量ダウンボタン

スピーカーの音量を下げます。(DOWN)

### 電池の交換方法(リモコン)

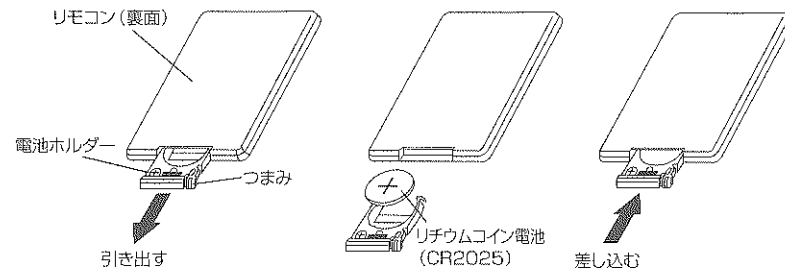
①電池ホルダーのつまみをはさみながら、電池ホルダーを引き出します。

②電池ホルダーにリチウムコイン電池(CR2025)をはめ込みます。

＋、－の向きに注意してください。

③電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

カチッ、と音がするまでしっかり差し込んでください。



## ■リモコンでの各種設定

### 1. 音量の調節

音量アップボタン(▲)を押すと音量は大きくなり、音量ダウンボタン(▼)を押すと音量は小さくなります。

### 2. アラームブザー・メロディ選択

音切替ボタンを短く押すと、レーダー波を受信した場合のアラーム音をブザー(ピッピッ音)とメロディ(メリーさんの羊・アルルの女)から選択できます。音切替ボタンを短く押すたびに、ブザー→メリーさんの羊→アルルの女→ブザー→…と切り替わります。

アラーム音または音声の出力中はアラーム音の変更はできません。

### 3. ミュート機能

警告動作中に警告音が不要になったとき(レーダー波の発信源がわかっているときなど)受信中のレーダー波がなくなるまで警告音をカットできます。

#### 操作方法

①警告動作中にミュートボタンを短く押します  
ミュート機能が働いて警告音が止まります。

②ミュート機能の動作中に再度ミュートボタンを短く押します  
ミュート機能が解除され警告音が鳴ります。

### 4. 振動センサーの感度設定

ご使用になる車種や本機の取付場所に応じて切替えてください。振動センサーの感度設定によりA A C・オートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。

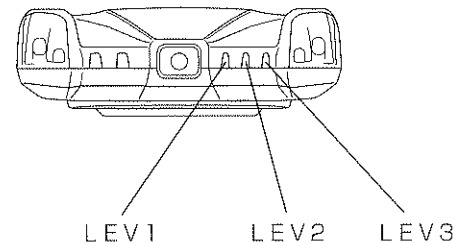
#### ①振動センサボタンを短く押します

操作のたびに振動センサーの感度を変更され、設定に応じて対応するレベルメーターが点灯し、音声でお知らせします。

感 度	音 声	レベルメーター	設定目安
高 ↑	設定しました	LEV 1 (緑)	ガソリン車 (感度：高)
	設定しました	LEV 2 (黄)	ディーゼル車 (感度：高) ガソリン車 (感度：中)
	設定しました	LEV 3 (赤)	ディーゼル車 (感度：中) ガソリン車 (感度：低)
低 ↓	設定しました	消灯	ディーゼル車 (感度：低)

#### ②動作を確認します

設定切替後は「■振動センサーの動作確認」(P. 15)に基づいて正常に動作するかどうか確認してください。

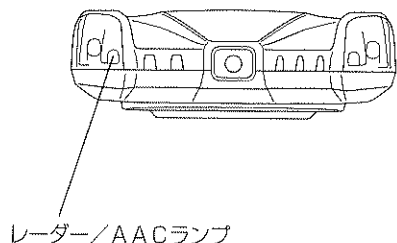


## 5. レーダー波受信感度の設定

- 感度切替ボタンを短く押すことにより、レーダー波受信感度が切り替わります。設定された感度をレーダー/AACランプで表示し、音声でお知らせします。
- オートモードに設定した場合、車速をもとに自動でレーダー受信感度を変更します。オートモードはGPS機能がONの状態のみ設定可能です。

感 度		使用状況の例	レーダー/AACランプ	音 声
—	オートモード		オートモード	ピンポーン、 設定しました
高 ↑ ↓ 低	エクストラモード	自動車専用道路、 高速道路走行時	緑色	エクストラモード を設定しました
	ウルトラモード		赤・緑色同時	ウルトラモード を設定しました
	スーパーモード		赤色	スーパーモード を設定しました
	ノーマルモード	市街地走行時	消灯	ノーマルモード を設定しました

※レーダー波の受信感度は、通常時もレーダー/AACランプで点滅表示します。  
ただし、ノーマルモードの場合、通常時にはレーダー/AACランプは消灯します。



## 6. オートアラームカット(AAC)システムの設定方法

- AACボタンを短く押すことにより、AACの機能及び設定速度が切り替わります。設定を、音声でお知らせします。

設 定	音 声	設定速度
ON	AACを40キロに設定しました	時速40km
	AACを50キロに設定しました	時速50km
	AACを60キロに設定しました	時速60km
OFF	AACを解除しました	—

※AAC機能のON/OFFは動作開始時のレーダー/AACランプの点灯色で確認できます。

設 定	レーダー/AACランプ
ON	赤色点灯
OFF	赤・緑色同時点灯



## 7. 受信機能の設定

受信機能の設定は各種ボタン(350.1、カーロケ、デジタル、署活系、ヘリ、Nシステム各ボタン)で行ってください。工場出荷時はすべての受信機能が[ON]に設定されています。

### (1) 取締連絡波(350.1MHz)の受信設定

350.1ボタンを短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

受信設定	音声
ON	取締無線を設定しました
OFF	取締無線を解除しました

### (2) カーロケーターシステムの受信設定

カーロケボタンを短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

受信設定	音声
ON	カーロケを設定しました
OFF	カーロケを解除しました

### (3) デジタルロケーターモード(デジタルVHF)の受信設定

デジタルボタンを短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

受信設定	音声
ON	デジタル無線を設定しました
OFF	デジタル無線を解除しました

### (4) ポリロケーターモード(デジタル署活系)の受信設定

署活系ボタンを短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

受信設定	音声
ON	署活系無線を設定しました
OFF	署活系無線を解除しました

### (5) ヘリテレ無線の受信設定

ヘリボタンを短く押すことにより、ON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

受信設定	音声
ON	ヘリテレ無線を設定しました
OFF	ヘリテレ無線を解除しました

### (6) Nシステムの受信設定

Nシステムボタンを短く押すことにより、設定が切り替わり、音声でお知らせします。

	受信設定	音声
ON	スーパーモード	スーパーモードを設定しました
	ノーマルモード	ノーマルモードを設定しました
	OFF	Nシステムを解除しました

## 8. デジタル無線とヘリテレ無線のパスメモリー機能

デジタル無線(VHF、署活系)とヘリテレ無線については常時受信してしまう任意のチャンネルをパスメモリー登録し、受信対象から外すことができます。これにより地域ごとに異なる常時使用チャンネルの受信をカットできますので、効率的かつ実用的なデジタル無線とヘリテレ無線の受信検出ができます。

### 操作方法

#### ① デジタル無線またはヘリテレ無線を受信します

#### ② 15秒以内にパスボタンを短く押します

先ほど受信したデジタル無線またはヘリテレ無線の受信チャンネルをパスメモリーに登録します。  
全てのデジタル無線、ヘリテレ無線チャンネルについて登録ができます。  
登録が完了すると、「パスメモリーを設定しました。」と音声でお知らせします。

### ご注意

デジタル無線、ヘリテレ無線を受信していない状態で上記の操作を行いますと、「パスメモリーを設定出来ません。」と音声でお知らせします。

#### ③ 受信待ちの状態になります

登録されたチャンネルは以後のスキャンでパスされますので受信しません

※パスボタンを長押しすることにより全てのパスメモリーをクリアします。

その際、「パスメモリーを消去しました」とお知らせします。

パスメモリーに登録したチャンネルは一つずつクリアすることはできません。

## 9. ゴーストアラームカットポイントの手動登録・削除

### ■手動登録方法

#### 登録方法

①レーダー受信中にメモ/クリアボタンを長押しします

"サーチします"と音声でお知らせします。

②現在位置周辺をゴーストアラームカットエリアとして登録します

現在位置を中心として半径200m範囲をゴーストアラームカットエリアとして登録します。

登録完了時には、"ブーン、不要な電波を削除します"と音声でお知らせします。

現在位置を測位できなかった場合は、"GPSを測位できません"と音声でお知らせします。

### ■手動消去方法

#### 個別消去

①ゴーストアラームカット動作中にメモ/クリアボタンを長押しします

②ゴーストアラームカットエリアを消去します

操作後、通常のアラーム警告が行われます。

#### 一括消去

①GPSレーダー本体のリセットボタンを短く押した後、リモコンの感度切替ボタンを短く押します

②すべてのゴーストアラームカットエリアを消去します

"不要な電波を解除しました"と音声でお知らせし、レーダー本体は再起動します。

#### ご注意

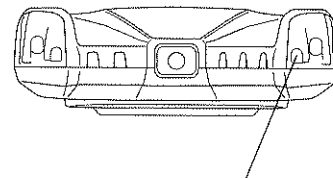
- 設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点でいったん消去されます。手動で登録されたポイントは自動消去されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

## 10. GPS機能の設定

オールボタンを短く押すことでALLモード、高速道ボタンを短く押すことで高速モード、一般道ボタンを短く押すことで一般モードになります。

モード	ハイウェイ/シティ表示ランプ	警告対象	音 声
ALLモード	赤・緑色同時	全ての登録済み取締機	オールモードを設定しました
高速モード	赤色	高速道路に設置された取締機	高速モードを設定しました
一般モード	緑色	一般道路に設置された取締機	一般モードを設定しました

※ハイウェイ/シティ表示ランプは通常時点滅して設定状態を表示します



ハイウェイ/シティ表示ランプ

#### ご注意

##### ●GPS機能の解除

オール、高速道、一般道ボタンのうち1つを長押しすることで、GPS機能が解除され、"GPSを解除しました"と音声でお知らせします。

※GPS機能を解除した場合GPS/BATTランプは赤・緑色同時の点滅となり、GPSが機能していないことを示します。

またこの場合、ハイウェイ/シティ表示ランプは消灯します

##### ●GPS機能の再設定

GPS機能の解除中、オール、高速道、一般道ボタンを短く押すと各モードに設定された状態でGPS機能が復帰します。

## 11. GPSアラームカットの設定・消去

頻繁に走行するなどしてよくわかっている取締機については、アラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。アラームカット登録を行った場合でもアラームランプ・レベルメーターによる警告表示は通常通り行います。

### 操作方法

①GPS警告中に、メモ/クリアボタンを長押しします  
あらかじめ登録されている取締機のGPS警告中に、メモ/クリアボタンを長押しします。

②アラームカット登録を行います  
"ブーン、設定しました"と音声でお知らせし、アラームカット登録がされます。

※アラームカット登録を解除するには、アラームカット動作中に再度メモ/クリアボタンを長押しします。操作後通常通りの音声警告が復活します。

## 12. オリジナルポイントの登録・削除

本製品は新しく設置された取締機やよく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30ヶ所までオリジナルポイントとして登録することができます。

### 登録方法

- ①メモ/クリアボタンを短く押します  
"サーチします"と音声でお知らせし、GPS測位を開始します。  
GPS測位が一度も完了していない状態では、"GPSを測位できません"と音声でお知らせします。
- ②オリジナルポイントが登録されます  
オリジナルポイントが登録されます。GPSの測位状況によっては最長20秒かかる場合があります。  
登録完了時 "オリジナルポイントを設定しました"と音声でお知らせします  
GPS測位が完了しなかった場合、登録失敗となります。  
この場合"GPSを測位できません"と音声でお知らせします。
- ③受信待ちの状態になります  
登録したポイントは次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

### ご注意

オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能ですが、それ以上登録する場合は登録後の接近頻度の最も少ないポイントを消去した上で新しいポイントを登録します。

### ■オリジナルポイントの消去

オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。又、全てのオリジナルポイントを一括消去することもできます。オリジナルポイントを消去した場合、再度復活させることはできませんのでご注意ください。

### 個別消去

- ①オリジナルポイントのGPS警告中に、メモ/クリアボタンを長押しします
- ②ポイントデータを消去します  
"オリジナルポイントを消去しました"と音声でお知らせします。

### 一括消去

- ①本体のリセットボタンを短く押した後、リモコンのメモ/クリアボタンを短く押します。
- ②すべてのポイントデータを消去します  
"オリジナルポイントを消去しました"と音声でお知らせし、レーダー本体は再起動します。

### 13. 通過速度の参照

取締機に対する警告動作中に告知された通過速度は、あとで参照することができます。

#### 操作方法

①ミュートボタンを長押しします。

②音声で最後に取締機を通過した時の通過速度をお知らせします。  
※動作開始後、通過履歴のない場合はお知らせできません。  
通過速度の履歴は、本体がパワーオフされると消去されます。

### 14. 居眠り防止アシスト機能

居眠り防止のため、音声による警告を行います。

#### 操作方法

①居眠り防止アシストボタンを短く押します。

居眠り防止アシストボタンを短く押すたびに、居眠り防止アシスト機能の ON/OFF が切り替わります。

②ON時は“ビピーッ、居眠り注意！”、OFF時は“ビピーッ、解除しました”と音声でお知らせします。

③ランダムな時間毎に音声とアラームランプの点滅による警告が行われます。

例 “ビピーッ、居眠り注意！”  
“ビピーッ、50キロ未満です”

#### ご注意

- 居眠り防止アシスト機能がONになっていると、本体の電源がONになった時に、“ビピーッ、居眠り注意！”と音声でお知らせします。
- 本体の電源がONになった直後から10分間は居眠り警告しません。
- 居眠り警告ボイスは、音量設定に関係なく、常時最大音量での警告になります。
- 車速が時速40km以下での走行時には、警告は発生しません。
- 本機能は、居眠りを未然に検知し完全に防止するものではありません。運転に際しては、十分な休息をとるよう心がけてください。

### 15. セキュリティモード

駐車中、セキュリティ表示ランプの点滅で簡易的な威嚇動作を行うことができます。また、振動を検出した場合は、アラームランプとトラップランプも点滅して威嚇します。

#### 操作方法

①セキュリティボタンを短く押します。

操作の度にセキュリティモードのON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

設定状態	音 声
ON	セキュリティを設定しました
OFF	セキュリティを解除しました

設定状態は動作開始時のトラップランプで確認することができます。

設定状態	トラップランプ
ON	点灯
OFF	消灯

#### ご注意

- 本体の電源がONとなっている間に、一度もカー電源コードを使用しなかった場合、セキュリティ動作はしません。
- セキュリティ動作はオートパワーオフした場合の駐車中に行います。電源スイッチがOFFの状態では機能しません。
- セキュリティモードがONで、GPS機能をOFFにして使用している場合やGPS測位を一度も完了していない場合の駐車中は常にセキュリティ動作を行います。
- セキュリティモードがONでGPS測位が完了している場合は夜間のみセキュリティ動作を行います。

### 16. シンプルモード

アラーム音と音声による警告のみでよい場合に設定してください。GPS・レーダー受信機すべての警告においてランプの点滅は通常の状態を保ちます。

※以下の表示においては、点滅表示を行います。

- ・レーダー受信時のAAC動作表示(レーダー/AACランプの速い赤点滅)
- ・ゴーストアラームカットの動作表示(アラームランプの点滅)

#### 操作方法

①シンプルモードボタンを短く押します。

操作の度にシンプルモードのON/OFFが切り替わり、音声でお知らせします。

設定状態	音 声
ON	設定しました
OFF	解除しました

## 8. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池が消耗している →カー電源コードで充電してください</li> <li>●オートパワーオフ機能が働いている →振動センサーの感度を高く設定してください(→P 27)</li> <li>●電源スイッチが <b>[ON]</b> になっていない</li> </ul>
リモコン操作がきかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの電池が消耗している →リモコンの電池を交換してください</li> <li>●本体の電源が入っていない →本体の電源を入れてください</li> <li>●リモコン受光部が布等で隠れている →リモコン受光部が隠れないようにしてください</li> </ul>
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●太陽光が十分でない →カー電源コードで充電できるか確認してください</li> <li>●カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください</li> <li>●電池の寿命 →カー電源コードで使用してください(→P 11)</li> </ul>
受信しない (音がでない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っていない</li> <li>●音量が小さい</li> <li>●受信感度の設定がノーマルモードで電波の弱い場所にいる →レーダー受信感度をより高感度に設定してください</li> <li>●AACがはたらいている →停車中はアラームがカットされます。(→P 17)</li> <li>●GPS測位が確定していない(→P 13)</li> <li>●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない</li> <li>●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源が入っていない</li> </ul>
取締以外で警告が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響</li> <li>●バッテリーローアラームが鳴っている(→P 10) →カー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください</li> </ul>
取締現場で連絡無線が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません</li> </ul>

## 9. 主な仕様

◆GPS部	受信周波数……………1.5GHz帯
	オービス登録地点…約650ヶ所
	取締ポイント
	オリジナルポイント…最大30ヶ所
◆レーダー部	受信周波数……………Xバンド/Kバンド
	受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン
	受信感度……………Xバンド -110dBm/エクストラモード
	Kバンド -105dBm/エクストラモード
◆レーザー部	受信周波数……………VHF帯/UHF帯
	受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン
	その他……………Nシステム(赤外線)
◆ 外観/一般	
	電源電圧……………本体 DC3.6V 充電池(本体内蔵)
	DC12V 外部電源(充電器兼用)
	リモコン リチウムコイン電池 CR2025×1個
	動作温度範囲……………-10℃~+60℃
	外形寸法……………本体 76(W)×112(D)×30(H)mm
	(突起部を除く)
	リモコン 86(W)×55(D)×7(H)mm
	重量……………本体 150g
	リモコン 24g

## ●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店に修理を依頼してください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。
  - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
  - (ハ)火災、地震。水害、公害、以上電圧、指定外の電源使用(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
  - (ニ)保証書のご提示がない場合
  - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 保証書は日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間はお買い上げ日から一年間です。

保証書(本書に刷り込まれています)は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

- 修理を依頼されるときはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のあるとき修理依頼してください。

■保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品機能が維持できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。

- あらかじめご承知いただきたいこと・・・

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に変わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

- 商品についてのお問い合わせは・・・

マルハマサービス TEL.045(251)2687